

技と思ひを守り継ぐ



1・3 棒振りと相対する獅子。周囲を取り巻く若衆がはやし立てます。
2 刀を掲げて切りかかる少年剣士たち。野菜神輿と一緒に町内を練り歩きました。4・5 道中を盛り上げるお囃子。6 カミーノの駐車場いっぱいに形作られた人の輪。ここで“アワセ”が披露されました。7 野菜神輿は大小2種類。大きなものは男性、小さなものは女性や子どもたちが担ぎました。8 獅子に立ち向かう棒振り。9 巨大な獅子の移動は数人がかり。



5年ぶりの4町“アワセ”
10月13日(日)、秋祭りに合わせて、本町の獅子舞(本町一丁目・三丁目・四丁目)と豊年野菜神輿(本町二丁目)が早朝から本町の町内を巡回しました。そして午後1時、3組の獅子と野菜神輿がにぎわいの里のいちカミーノに集結。棒振りやお囃子などの人々が一同に会し、その周囲を大勢の見物客が取り囲みました。徐々に熱気が高まります。“トザイトーザイ！”
落ち着かない会場の雰囲気を切り裂く口上を口火に、いよいよ5年ぶりの4町“アワセ”が始まりました。それぞれの団体が受け継ぐ伝統の演舞が矢継ぎ早に行われ、棒振りや獅子舞の動きの違いが如実に見て取れます。威勢のいい掛け声とともに披露される演舞に、観客からは大きな歓声と割れんばかりの拍手が巻き起こっていました。

